

書くまえに...

① 書くことに対する意欲や経験について聞く。



書くのは好きですか。○○語(母語)でも書いたことがありますか。
今日は日本語でたくさん書きましょう。いいですか。がんばりましょう。

- ・好き/嫌いの理由やどんなものを書いたかなど、自然な流れでやりとりをし、リラックスして書くことに取り組めるようにする。

② 課題について話し合い、わかったかどうか確認する。



遊びを一つ選んでください。小さい子にやり方を教えます。どんな遊びですか。

- ・質問して具体的な答えをたくさん引き出す。

③ 用紙の選択・用紙の使い方がわかっているかどうか確認する。



では、今から、○○のやり方を書きましょう。
小さい子によくわかるように、わかりやすく書いてください。いいですか。



まず紙を選びましょう。どの紙に書きますか。

- ・巻末資料から2, 3枚示して選ばせる。



どこに名前を書きますか。どこから書き始めますか。
はじめに絵を描いてもいいですよ。

- ・選んだ用紙の使い方を確認し、わからない場合は教える。

④ 時間の指示（目安は20分）



では、書いてください。時間は□□までです。いいですか。

書きましょう...

① 書く様子を見守り、助けを求められたときはこたえる。

- ・なかなか書き出せないで困っている場合は、声かけ(1または2)をしてはげます。

(例) < 1. 課題について詳しく話し合う >



一年生にやりかたを教えましょう。まず何をしますか。それから何をしますか。
難しいのは何ですか。面白いところはどこですか。

< 誘導・はげまし >



今の話を書きましょう。わかりやすく書いてください。

< 2. 絵を手がかりにして話し合う >



先に絵を描いてみましょうか。
(絵について) これは何をしているところですか。これはなんですか。

< 誘導・はげまし >



じゃあ今度は文を書いてみましょう。がんばってください。

書いたあとで ...

① 作文を提出させ、ねぎらう。



がんばってたくさん書きましたね。
では、見せてください。

② 書いた内容について話させる。



では、書いたことを話してください。

- ・読み上げさせるのではなく子どもの頭の中に残っていることを話させる。
しっかりとあいづちをうち、肯定的に聞く。
わかりにくい点、情報不足と思われるところについて質問し追加情報を引き出す。
★書き直させる必要はない。

③ 書く姿勢・取り組みについて質問する。



書くとき、一番考えたのはどこですか。
この作文の面白いところはどこですか。

- ・しっかりとあいづちを打って聞き、肯定的に聞く。工夫した点をほめる

④ 振り返りを行う。



よくがんばりましたね。遊び方がよくわかりました。
とても上手に書けました。話も上手でした。良かったです。
これでおわりです。

- ・子どもが達成感を持って終われるようにほめる。
「～というところが特に面白かったです。」等、具体的にほめるとよい。



書くのは大変でしたか？楽しかったですか？



今日の作文、とても上手でしたね。これからもたくさん書きましょね。

メモ:

この課題は「手順の説明」に焦点がある。読めばやり方がわかるように書けるかがポイントである。自分がよく知っていることを説明するのは意外に難しいので、順番を意識させるような質問をし、子どもから答えを引き出す。説明できそうな遊びの名前が挙がらなかったら、「じゃんけん(日本式でも外国式でもよい)」のやりかたを説明させてもよい。